

# 社友会だより

## 第 2 7 号

発行 センツウ社友会  
 住所 神奈川県川崎市麻生区上麻生 2-35-16  
 〒215-0021 平野昌明 内  
 編集者 大場省平

### \* 役員会の開催 \*

- 日 時 平成 22 年 9 月 24 日 (金) 13:30~17:00  
 ○場 所 島嶼会館 (東京都港区海岸)  
 ○出席者 法安会長他 7 名 (中央在住理事)

#### 1. 議題

- (1) センツウ社友会運営内規について
- (2) 平成 22 年度の活動計画 (スケジュール) について
- (3) 「センツウ同窓の集い」について
- (4) その他

#### 2. 事務局報告

- (1) 9 月 24 日現在の会員数は 230 名となった。
- (2) 事務局長の事務引き継ぎを 8 月 3 日に完了した。
- (3) 郵便物の発送は従来通り、重要案内及び期限のあるものは郵便とし、その他は佐川急便とした。

#### 3. 議事

##### (1) 「センツウ社友会運営内規」について

平野事務局長から、支部設置等に関連し、運営細則を定めたいが、来年の総会に付議するまでは、運営内規としたいとの提案があり、内規 (案) の説明があった。審議の結果了承された。

##### ①支部関連

- ・会則第 13 条に基づき、次のとおり支部の設置及び支部長の指名を行い、平成 22 年 10 月 1 日から実施する。

(支部名)	(支部長名)
中部支部	本田 太作氏 (社友会副会長)
阪神支部	村上 功 氏 (社友会副会長)
九州支部	金重 寛 氏 (社友会副会長)

なお、各支部の事務局長は各支部長が指名し、報告をもらうこととした。

- ・支部の組織・形態・職務等その内容は、極力シンプルにし、社友会の活動及び会務の運営が煩雑化しないことを第一義とする。
- ・各支部は、四半期毎に「支部活動だより」を本部に提出する。

##### ②会計関連

- ・簡便な帳簿処理 (現金出納帳及び預金通帳写し) 程度とする。
- ・銀行口座の具体例「センツウ社友会〇〇支部 船通太郎 認印」
- ・支部は、本部から配布される金額のみを管理する。
- ・平成 22 年度の支部への配布金額は、10,000 円とする。但し、上記の金額を超えて支部が必要とする場合は、その都度役員会で検討する。

##### (2) 平成 22 年度の活動計画について

平野事務局長から、本部の活動計画 (スケジュール) を説明し、審議の結果、了承された。

なお、大場編集長から、会報記事が集まらないので、支部設置を機に「支部長からの記事」及び「各支部からの支部だより」等の記事提供要望があり、各支部に依頼することとした。

##### (3) 「センツウ同窓の集い」について

松原理事から「センツウ同窓の集い」の平成 22 年度開催について説明があり、審議の結果了承された。審議の結果は、次のとおりです。

①本集いは、誰でも参加できる精神で開催する。

##### ②首都圏での開催

- ・12 月 4 日 (土) は、会場の確保が出来ず、11 月 27 日 (土) とする。
- ・会場では、センツウ時代の思い出写真をスライド映写を予定する。
- ・開催案内状には、会場への略図を同封する。

##### ③支部等への連絡

- ・各支部へは、崎山理事 (地域連絡担当) から開催依頼する。
- ・各組織へは、松本、平野両理事から組織長へ協力を依頼する。
- ・現役社員へは、口コミで案内する。(案内文は出さない。)

##### (4) その他

- ①「会報への記事提供」及び「編集長の補助者 (レポーター等)」について検討した。
- ②会報には、「社友会ホームページ」への感想 (各種アンケート) 等を掲載する。
- ③事務局長から個人メールアドレス登録者は 88 名
- ④役員の主な担当事務 (7 月 11 日現在) を席上配布

### \* 「同窓の集い」各地の予定 \*

- 首都圏・日時 11 月 27 日 (土) 12:00~  
 ・場所 東京芝 弥生会館 03-3434-6841
- 阪神支部・日時 11 月 27 日 (土) 13:00~  
 ・場所 老房・LAO FANG 神戸市中央区山 078-331-7050 手通り 2-12-9
- 中部支部・日時 11 月 27 日 (土) 12:00~  
 ・場所 那古野沢湯食堂 名古屋市中村区 052-589-3550 名駅 4-4-38
- 九州支部・日時 12 月 3 日 (金) 18:30~  
 ・場所 MARRY GOLD (旧センツウビル) 093-322-5588

○東北地区・日時 12月1日(水)  
・場所 仙台市内を予定

## ボランティア活動報告

〔阪神支部 上中 健さん〕

今年の四月からは、三田市社会福祉協議会のボランティア「さんだつながりバンク」に登録し、いろいろな施設での音楽活動ができるようになり、頑張っ

て活動しています。四月以降の活動件数は、4ヶ所(中央デイサービスセンター、有馬富士デイサービスセンター、さんすい園、いこいの家さんだ)で4月から半年で47件の歌う会を実施しました。(一寸多いかも)

1人で行う時と、グループで演奏する場合があります。また、センターの方からグループ名があれば紹介しやすいとのことから「チーム歌人・うたびと」とし、出演しています。

センターの規模により、出演者数を決めています。今回は一番大きなステージで行った時の写真を送付します。

場所は、中央デイサービスセンターの中で一番大きな場所である「多目的ホール(約200名型)」です。

同センターの「敬老のつどい」の企画で、大きなスクリーンにプロジェクターを利用して、ご来場の皆様と一緒に歌いました。かつて、NS活動で勉強したプレゼンテーションのノウハウを生かして歌詞を大型スクリーンに写したことから、顔をあげて歌えてスタッフ、利用者から喜ばれました。以前は、紙で作成した歌詞カード(約300曲収録)で歌っていましたが、カードをめくる作業に手間取りスムーズな進行がしにくいことから、現在はプロジェクターにより行っています。

中央デイサービスセンターでは、高齢者用と障害者用のサービスを行っていることから、障害者用のサービス部門からも歌会を要請され、日によっては2か所となり合わせて40曲の演奏となることがあります。年齢差がありますが、楽しく歌うことが出来ています。当面は、このボランティアを楽しんで行くつもりです。また、いい曲がありましたら、お知らせ下さい。

写真は、全体のものと、最後の曲「これから音頭」の時に職員の方が踊りを入れてくれたものです。いつもの職員の方なので利用者の方々も大いに喜んでくれました。



## 思い出の地、大楠山ハイキング

〔本部 松原繁弘さん〕

平成22年10月15日(金)、社友会の行事として、大楠山に行ってきました。

大楠山は、神奈川県三浦半島最高峰(242m)の山で、山頂の展望塔からは三浦半島を見渡せるのはもちろん、富士山、箱根連山、房総半島を楽しむことができ、また、大楠山は、船舶電話の基地局が設置されていた山で、私

たちには思い出深いところでもあります。当日の朝は曇りであったが日中は晴れて絶好のハイキング日和。午前10時、JR逗子駅に集合、逗子駅からバスに乗車、約1時間で前田橋に到着。

ハイキングコースは、前田川沿いの遊歩道を歩くコースを選択。木漏れ日が揺らぐ緑のトンネルの中、平らな飛び石を踏み外さないようひたすら上流へ。時折り小さな滝に会い、マイナスイオンと森林浴に楽しんだ。

遊歩道の一部が、大雨による土砂崩れがあり、コースを余儀なく迂回、約30分で大楠山登山口に到着。ここからは登山靴(キャラバンシューズ)が威力を発揮する登り道。前日の雨により地面が滑る場所も何箇所あったが、約1時間の登山道も無事制覇、待ちに待った頂上にやっと到着。

山頂は、手入れが行き届いた広場となっており、汗ビッシヨリの下着を着替える人や、下界を展望する人等思い思いに休息。一段落したあと昼食に。苦勞して背負ってきた「ビール」「日本酒」の味は格別で、これぞ登山の醍醐味と、グイグイ喉を鳴らした人、おにぎりをぱくつく人等昼食を楽しんだ。

昼食のあと、螺旋階段の展望塔に登った。ガイドブックに記載のとおりまさに絶景、大パノラマに感動。眼下にはゴルフ場、遠くには三浦半島、房総半島が一望でき、素晴らしい景色に時を忘れ、しばし見入った。また、船舶電話の基地局も脇に立っており、地上波の船舶電話時代を懐かしみ、「大変お世話になりました。感謝・感謝」と、思い出にふける人も・・・。

帰路は、ダラダラとしたアスファルトの舗装路を下山、ほろ酔い気分ワイワイガヤガヤ・・・心地よい疲労の中、約1時間でバス停に着き、逗子駅行きのバスに乗車、無事故で出発地に到着することができた。

参加者は高年齢であったが、年を感じさせず元気いっぱい、秋の大楠山ハイキングで大満足の様子であった。

次回の発行は1月を予定します。ご寄稿をお待ちします。

